

仮処分決定に従わない 真宗大谷派(東本願寺)

●きょうとユニオン(人事権濫用は違法無効!)



仮処分決定を守れ!と抗議行動

三月二十七日、京都地裁は 大谷専修学院の教職員二人が

申し立てた地位
保全の仮処分に
対して「勤務場
所及び業務内容
の変更を命じて
はならない。自
宅待機を命じる
旨の意思表示の
効力は仮に停止
する」との決定
を行った。異動
を「人事権の濫
用」「違法無

効である」と断じたのである。にもかかわらず、真宗大谷派はこの決定に従おうとしない。そればかりかこの地位保全の審理が継続中の昨年十二月二十五日には、二〇二五年度の学院生徒募集を中止すると発表した。一年制の学校であることから、本年四月以降、学院には生徒がいないう状態となり、戻るべき職場が奪われている。

宗大谷派が学院の設置権者という大きな権力を振りかざして、大勢の教職員を苦しめている。事には組織的なパワーハラスメントに他ならない。また、学院の生徒募集中止は、今年、学院への入学を希望していた生徒たちの学びの場を奪うものでもある。

学院は全寮制で常勤の教職員も家族と共に寮で生活し、授業だけでなく食事や寮生活も含めて相互に学び合う場がある。二〇二三年四月に就任した学院長は学院の伝統的な教育の在り方を刷新しようと考えていたようだが、どのような刷新を目指すのかの議論もないうまま、職員の負荷やこれまでの教育内容の意義を顧みずに強行しようとしたこと

から様々なトラブルが発生した。学院長は自らのメンタル不調を理由にして、学院の指導的な位置にあったベテラン職員二人と一緒に働けないと主張している。真宗大谷派は学院長と教職員の間を生じた問題に向き合うべきであったにも関わらず、話し合いの場も持たずに昨年八月の不当な異動の内示、さらには学院の停止という暴挙に出てきた。

きょうとユニオンと支援の労働者市民は二月十一日に学院生徒募集中止に対する抗議行動で、行仮処分決定を守れ!パワーハラスメントを謝罪せよ!大谷専修学院を早期に再開せよ!と訴えた。

●韓国オプティカルハイテック労組 68日の遠征闘争

一月二十一日から三月二十七日まで六十八日間の韓国オプティカルハイテック労組大坂遠征闘争が終了しました。オプティカルの闘いを何とし

ても解決したい。そんな思いを胸にオプティカルハイテック労組がウ・ウオンシン国会議長を訪れたのが十二月三日、戒厳令の日でした。

韓国でも日本でも日東電工への闘いを強化しようとした矢先の出来事に、遠征闘争が実現できるのか一抹の不安もありました。それでも韓国の仲間たちは、連日の大統領領罷要求行動に加え、オプティカルの闘いを全国に知っても

らう「希望テクテク行進」を実現させました。亀尾(クミ)からソウルまで三五〇キロを歩き、各地での宣伝行動と連帯の集会も開きました。その中で日本をめざします。

日東電工本社のある大阪での連続行動は未経験、どれだけの支援態勢ができるのか不安の中でのスタートでした。当初はわずか数人での行動でしたが、朝の茨木事業所前、屋の大阪駅前(大阪本社)、午後には主要取引先のアップルストア前、夕方は茨木に戻っての行動を連日取り進む中で日を追って参加者も増え、最終日には六十人もの支援の仲間が駆けつけました。日東電工亀山工場(日東電工ユニオン)の仲間たちもこの闘いに連帯してくれました。何よ

●全国一般東京なんぼ 商業界倒産争議 解決報告集会を開催



報告集会には60人が参加

三月二十九日、東京・四谷の主婦会館 プラザエフにて「商業界の倒産争議報告集会 感謝の宴」が開催されました。当該組合関係二十六人、支援の友誼組合の方々三十四人、計六十人のご参加をいただきました。

報告集会の前段の臨時大会では、座り込みや会館の専務企業や新事務所への直接行動などを写真で紹介し、争議経

過を報告したあと、近藤委員長がなんぼの担当オルグで解決を目前にして急逝された平賀雄次郎さんと弁護士荒木昭彦先生の指導の下、組合の団結と闘いの維持継続が解決を導いたこと、またなんぼの中高労をはじめ多くの仲間が支えてくれたことなどを振り返り、支援してくれた方々への感謝とお礼を述べました。

この報告集会をもって商業界分会は半世紀を超える歴史に幕を閉じることになりましたが、今後はなんぼやその他の争議職場を支援し、団結と支援のバトンをつないでいくと決意を固めました。

報告集会の成果を確認

●サンケン弾圧・尾澤裁判報告集会 最高裁上告棄却弾劾! 3年半の支援に感謝



サンケン弾圧・尾澤裁判の最高裁上告棄却にともなって、裁判闘争の最後の締め括りとして、三月二十八日、東京・文京区民センターで、「最高裁の上告棄却弾劾!未来を語る」と話し、現在闘われている尹錫悦弾劾罷免の闘い「報告集会」が開催され、二人が参加しました。

この集会には、韓国サンケン争議当時の支会長であり、現在全国サービス産業労働組合連盟慶南支部組織部長のオヘンジンさんと、復職闘争委員長であった現・民主労総慶南地域本部長のキム・ウニョンさんなどが尹錫悦弾劾罷免闘争の最中で極めて忙しい中参加しました。

訂正

郵政ユニオンストライキ記事の筆者家門和宏さんの肩書きについて、訂正をさせていただきます。

正 郵政産業労働者ユニオン書記長
副委員長

大阪では連続行動

尾澤孝司さんが報告